

ウイルス感染を狙う メールに注意！



- インターネットバンキングマルウェア(ウイルス)の感染拡大を目的としたメールが日本を標的として大量に送信されています。
- メール添付ファイルを開いたり、メール本文中のリンクをクリックするとウイルスに感染してしまいます。

どのような被害に遭うの？

感染するとインターネットバンキングのIDやパスワードが盗み取られ、不正送金などの犯罪被害に遭うおそれがあります。

メールの件名

- 立替金報告書の件です。
- 申請書類の提出
- 注文書の件
- 請求データを送付します。
- 納品書フォーマットの送付
等があります。

< 対 策 >

- セキュリティ対策ソフトやOS、各種ソフトウェアを常に最新の状態にしておく
- 金融機関で提供・推奨するセキュリティ対策サービスを利用する
- 通常の手続きと異なる不審な画面にID・パスワード等を入力しない
- 口座の預金残高等を定期的に確認する
- ログイン完了後、送金等取引以外に再度ID・パスワードの入力を求められた場合には、ログアウトし、再度ウイルスチェックを行う
- 詳しくは、日本サイバー犯罪対策センターの「不正送金等の犯罪被害につながるメールに注意」をご確認ください。

(<https://www.jc3.or.jp/topics/virusmail.html>)